

No. 142

さい議会だより



「佐井村消防センター」完成予想図（関連記事：2, 3 ページ）

6月定例会

- ブロードバンド調査研究に期待.... 4 ページ
- 住民提案型事業の状況 .. 6, 7 ページ
- 「ふるさと納税」宣伝を 10 ページ

消防センター建設決まる



消防センターは、役場前（佐井小学校向かい）に建設されます

平成二十年第二回定例会は、六月九日から十一日までの三日間の会期で行なわれました。村長から、報告一件、専決処分した事項の承認七件、平成二十一年度一般会計および下水道事業特別会計補正予算案、条例の一部改正案五件、契約三件、関係組合の規約変更二件、人事案件一件、計二十一の議案が提出され、それぞれ可決・承認・同意しました。

なお、議案の可決に伴い、消防センターの建設（準備）工事が始まっています。

建設工事（丸井重機建設株式会社）

- 建設工事 一一一、六〇〇, 〇〇〇円
- 建設外構工事 七五, 三九〇, 〇〇〇円
(細川建設株式会社)
- 建設工事施工監理業務委託
(RAB開発株式会社)
- 六, 〇九〇, 〇〇〇円
(株式会社みちのく計画)

●事業費の合計金額

三〇五, 五五〇, 〇〇〇円

※工事・委託金額には消費税を含みます。

**総事業費
約三億六百万円**



下北地域広域行政事務組合の
無線鉄塔（原田地区）

安心・安全の確保を

宮川議員

原田地区の消防無線中継基地は、設置からかなりの年数が経過し、修理に必要な部品の確保も困難になっている。

消防センター建設にあたり、新たに整備する計画はあるか。

支障が出ないよう
対応する

状況を把握していないが、災害時の対応に影響がないよう速やかに対応していく。

不備のないよう
整備すべき

四月から無医村になり、住民の安心・安全のためにも、消防無線に機能的不備のないよう整備してほしい。

機能を充実させる

救急要請の電話を受けたものの要請元が特定できないケースがあったので、消防センター開設時には逆探知できるような機能も含め、要請に応えられるようにしたい。

後期高齢者医療制度 軽減措置の実態は

坂井議員

後期高齢者医療制度は、七十五歳以上の高齢者を差別化する制度として、全国的にも大きな問題になっている。

村長は県後期高齢者医療広域連合議会の議員

をされているが、どのような議論がされているのが、どのような議論がされているのか。

広域連合議会での
議論はない

村長

県広域連合議会の中では、制度についての議論はされていない。ただし、各町村長は制度に対する不満を持っており、県町村会では低所得者・無年金者の保険料の負担軽減を厚生労働省に要望している。

70%の被保険者
負担軽減か

坂井議員

厚生労働省によると、被保険者の70%が負担軽減を受けているという調査結果が出ているが、村でも同

当村は 64 %

住民福祉課長

全国的な調査のため、村でも調査表を提出している。調査結果によると、七割軽減を受けている方が五十四%、五割軽減が四%、二割軽減が六%であり、全体では六十四%の方が軽減措置の適用を受けていた。



ナイスショット！（国保ゲートボール大会）

ブロードバンド化促進

調査研究に期待

坂井議員
参事・総務課長
メンバーや各分野から選出している。調査研究会は、ブロードバンド環境整備ワーキングとアプリケーション

調査研究会の構成員は、坂井議員によれば、各分野から選出された。調査研究会の構成メンバーは、各分野から選出されている。調査研究会は、ブロードバンド環境整備ワーキングとアプリケーション

今年度中に三回の調査研究会を開催し、医療・高齢者対策、災害対策、学校関係の充実を重点に計画書を作成する。委員から意見を伺い、村にふさわしい計画は次年度以降、事業化する。

事業と思われる。どのような内容を予定しているのか。地域にとって期待の持てる事業と思われる。どのような内容を予定しているのか。地域にとって期待の持てる事業と思われる。どのような内容を予定しているのか。

医療、災害対策等
調査研究する

参事・総務課長

坂井議員
既存の補助事業よりも補助率の高い制度の新設を期待する。事業推進に伴い、新たな財政負担が懸念されるが、

補助制度の新設に期待

参事・総務課長

坂井議員
既存の補助事業よりも補助率の高い制度の新設を期待する。事業推進に伴い、新たな財政負担が懸念されるが、

補助制度の新設に期待

参事・総務課長

ショーンワーキングのふたつのグループに分かれて活動する。待し、計画に沿って事業を推進していく。

財政的負担は
要望している

村長

財政面に不安があるため、東北通信局長、県企画部長に補助制度の新設を要望している。

『導入が可能となる事業のイメージ』

「ブロードバンド化促進のための調査研究会」

【調査研究会】 (佐井村関係者分)

樋口 秀視	参事・総務課長
福浦 岳志	住民福祉課長
若山 明生	社会福祉協議会 事務局長

【ブロードバンド整備検討ワーキンググループ】

奥本 太郎	佐井小学校PTA会長
佐々木一志	総務課 広報情報係長

【アプリケーション導入検討ワーキンググループ】

川島 貴雅	佐井歯科診療所長
島野 慶司	アルサス活性化協議会 運営委員長
瀬原富貴子	社会福祉協議会 事務局次長
宮澤 淳	住民福祉課 健康福祉係長
山口 健二	総務課 広報情報係 主事

安心安全情報



総括審査

予算・条例等審査特別委員会

川岸委員
全県的に国保の税率が改
正されているようだが、県
内に改正しない市町村はあ
るのか。

県内では
当村だけか

川岸委員
医療費抑制に

健康指導が
重要



いたくないよ。くちをあけて！（乳幼児歯科健診）

住民福祉課長
基礎課税額と介護納付金
によって構成されていた國
民健康保険税に、後期高齢
者医療支援金が加わる。ま
で年金受給者の特別徴収を実
施するものである。なお、
今年度の税率は改正しな
い。

川岸委員
国民健康保険税条例の一
部改正案が提案されている
が、主な改正点は、また、健
康保険税額は改正されるの
か。

条例改正するが
税率改正せず

川岸委員
市町村はいくつかあるよう
だ。

住民福祉課長
当村のほか、改正しない
市町村も

改正しない

来年度の見通しは

川岸委員
医療費増で
税率改正

住民福祉課長
税率の来年度の見通し
は。

村長
保健師活動で住民との接
点を多く持つようにし、病
気の早期発見に努め、医療
費の抑制を図りたい。

保健師の活動を
活発にする

健康指導で医療費抑制を

～国保税率改正なし～

竹内委員
保育所整備に伴う不動産
鑑定料が補正予算に計上さ
れているが、保育所の建設
準備に入つたと理解して良
いか。

竹内委員
建設委員会などを組織し
て検討するということであ
つたが、どうなつている
のか。

村長
そのように理解していた
だきたい。
理解してほしい

建設委員会の
設置は

竹内委員
建設委員会などを組織し
て検討するということであ
つたが、どうなつている
のか。

村長
今後、十分気をつけなが
ら事業を推進していく。
これから行なわれる保育
所建設にあたつては、利用
するみなさんの意見を取り
入れ、より良い施設をつ
くつていきたい。

利用者の意見を
取り入れる

住民福祉課長
基本設計をもと
に、保育士・保護
者との懇談会を設
けて意見を集約す
る予定である。

村内委員
住民の意見
反映せよ



みんなそろっていただきます（佐井村保育所うさぎ組）



約1000食のうに丼を完売したウニまつり（6月7～8日）

佐井村 住民提案型事業

山口委員

むらづくり基本条例が制定され、約一年が経過した。村長は機会あるごとに住民に説明し理解を求めてきたが、住民の理解は得られたのか。

採用基準が不明瞭

**住民の理解は
十分ではない**

村長

十分ではないと考えており、なお一層、職員はもとより住民のみなさんに理解していただけるよう努めていく。

**行政の責任は
果たすべき**

山口委員

団体などの意見を反映していきたいと考えている。

事業の採用基準は

山口委員

むらづくり基本条例に基づく事業として、住民提案型事業が始まつた。「あなたのおもいをむらづくりにいかしませんか」が趣旨であり、村の活性化につながる事業を採用すべきと考えている。採用の基準は、

**住民の意見で
良い村にしたい**

山口委員

採用された事業に、本来は行政が行なわなければならぬ事業も含まれておらず、趣旨にそぐわない。

住民が行政に協力・参加できる体制づくりを推進し、すべてを住民に頼るのではなく、行政としての責任を果たさなければ、この事業の成功はない。

村長

対象事業を限定するのではなく、広く募集した。今後は選考会で議論し、各種

**選考会で
議論していく**

村長

行政が住民と一緒に汗を流し、いろいろな意見を聞くことでより良い村をつくっていきたい。

・・・「佐井村住民提案型事業」採用事業一覧・・・

団体名	事業の内容
佐井村漁業協同組合	○水産物販路拡大事業 ホームページを開設し、水産物・加工品のインターネット販売を行なう。
原田地区会	○原田八幡宮周辺環境整備事業 八幡宮境内を子どもの遊び場、高齢者の憩いの場として整備し、非常時には避難所として活用する。また、旧生活改善センターを共済会事務所に改造する。
川原町町内会	○古佐井川水と花環境推進事業 古佐井川を住民の癒しの場とするため、清掃や植栽を行なう。
矢越地区会	○矢越地区生活改善センター整備事業 老朽化が進む生活改善センター内外部を補修し、コミュニティ施設の維持を図る。
潮風協同組合	○「サマーナイトステージ in しおかぜ」事業 ジャズバンドを招待しての演奏会、bingo大会等を実施する。また、8月13日・14日にはピアガーデンを開設する。
佐井村商工会	○「サマービアガーデン2008」事業 8月15日にピアガーデンを開設し、カラオケや芸能ショー、盆踊り等を実施する。
佐井村観光協会	○「佐井村ウニまつり」事業 佐井村のウニのブランド化を目指すとともに、観光資源のPRを図る。
アルサス活性化協議会	○「アルサス・イルミネーション」事業 冬の風物詩として定着しているイルミネーションを通じて佐井村のPRを図るとともに、住民に憩いの場を提供する。

6月定例会



川畠勲夫 議員

住民提案型事業の状況は

川畠議員
選考会の構成員は
九団体から十一件の申請
があり、八件（八団体）を
採用した。
成員は。

川畠議員
四月から六月まで募集し
た「住民提案型事業」の状
況は。

村長
11件の申請
8件を採用

川畠議員
有識者など5人

村長
住民代表二人、公募委員
二人、有識者一人の五人で
審査することになっている
が、事務の不手際から庁内
での協議によつて決定し
た。

川畠議員
公共施設の補修も
費用負担するのか

川畠議員
地区会などの団体が、各
地区センターなどの公共施
設を修理する事業を提案し
採用された場合でも、事業
審査は選考会で行なうこ
とになつてゐるが、その構
成員は。

村長
体が実施する補修の違いを
明確にしなければ、選考委
員も判断しにくいのではないか。

川畠議員
団体とは十分に話し合
い、理解し合えるよう努力
する。

川畠議員
災害などによる補修や大
規模な改修は、村が実施す
る。通常の使用による破損
などの補修は、地区会など
で徴収している使用料によ
り、事業費の一部を負担し
ていただきたい。

川畠議員
指定管理者との
整合性は



地区会で補修を行なった矢越地区生活改善センター

例年12月下旬から1月上旬に実施される
アルラス・イルミネーション

費の五分の一を負担しなけ
ればならないのか。

理者制度の導入計画との整
合性は取れるのか。

村長
原田・矢越地区生活改善
センターに指定管理者制度
を導入し、モデルケースと
する計画がある。さまざま
な問題点を整理しながら、
各地区に波及させたい。

川畠議員
改修と補修
違いを明確に

参事・総務課長
原田・矢越地区生活改善
センターに指定管理者制度
を導入し、モデルケースと
する計画がある。さまざま
な問題点を整理しながら、
各地区に波及させたい。

川畠議員
原田・矢越地区を
モデルケースに

住民提案型事業の助成について

対象となる経費は、講師謝金、消耗品費、使用料、備品購入費などで、事業費全体の4/5以内（最高20万円）となっています。25万円の事業が採用された場合、その団体は最低でも5万円を負担しなければなりません。

大間病院患者送迎バス

利用者本位の対策を



竹内 修 議員

竹内議員

大間病院への患者送迎

バスは、整形外科受診日（毎週金曜日）が混み合うため座れないこともあると聞くが、対策を講じないのか。

利用者に協力をと聞くが、対策を講じないのか。

利用者に協力をお願いする

善できる部分は改善していかたい。

利用者が増えれば改善するのか

利用者が増えれば改善するのか



整形外科受診者で込み合う大間病院への送迎バス

バス利用者には、病院の予約制度を利用してもらいたい、一便に集中しないよう協力をお願いする。当面は利用状況の把握に努め、改

バス利用者が不便を感じないよう、できるだけ早く解決していくことか。

問題点は早期に解決したい

高齢者からは通院が大変だとの声も聞かれる
(写真は川目地区住民健診)

村長

次期ダイヤ編成で対応したい

竹内議員

停留所の増設は

であれば次期ダイヤ編成に反映させたい。

特に古佐井地区には自宅とバスの停留所が離れている方が多いが、停留所の増設はできないのか。

バス会社が運行路線を変更するには新たに許可を得る必要があるため、現在の停留所以外にはすぐに設置することができない。

今後の利用状況をふまえ、関係者と協議をし、可能

6月定例会



北通り3町村合併協議会は平成18年5月31日に解散している

市町村合併問題 結論は出せるのか

竹内議員

村長は、九月定例会までに合併問題についての結論を出すと言つてきたが、住民や議会が理解できるような計画案が示せるのか。

住民懇話会を予定している

3町村合併に1%の望み

竹内議員

以前協議した大間町・風間浦村との一町二ヶ村の合併が九十九%不可能だとしても、残りの一%に期待を寄せる住民もいるが。

平成十九年度決算をもとに、今後のむらづくり計画を視野に入れた財政シミュレーションの作成と、住民懇話会の日程調整を行なっている。

平成22年3月に

村長

120%不可能

間に合うのか

村長

現在の状況では、一町二ヶ村の合併は百二十%不可能だと

合併するとすれば、新合併特例法の期限である平成二十二年三月に間に合うのか。

新合併特例法にはこだわらない

村長

新合併特例法にはこだわりたい。



こどもたちの七夕の願いごと...

叶えられるような村づくりをしなければならない
(佐井村保育所ぞう組)

6月定例会



工藤明道 議員

ふるさと青森応援サイト

トップふるさと青森応援サイト
～ふるさと青森へのあふれる想いをかたちに～

ふるさと納税のご案内

ふるさと納税制度を紹介する青森県庁ホームページ

工藤議員
奇抜なアイディアで多くの協力を得られるよう努力してほしい。

協力得られるよう努力せよ

村長
「広報さい」やホームページを活用するほか、村出身者やゆかりのある方にダイレクトメール（手紙）で協力を呼びかける。

村長
序内で検討協議をして

検討・協議を
している

工藤議員
税制改正により『ふるさと納税制度』が設けられた。財源確保のため積極的に取り組むべきではないか。

工藤議員
PRには「広報さい」やホームページを有効活用すべきである。

広報を活用すべき

手紙も考えている

工藤議員
PRには「広報さい」やホームページを有効活用すべきである。

いるが、インパクトのあるPRが必要と考えている。

「ふるさと納税」積極的に宣伝せよ



税金や寄付金はみんなのために使われます

ふるさと納税制度

中央と地方の間で顕在化する税収の地域格差是正を目的に導入された制度です。出身地に限らず、全国どこでも、応援したい自治体等に寄付ができます。

寄付をすると、住民税と所得税から寄付金額に応じた一定額の控除を受けることができます。

青森県では、ふるさと納税を活用した事業として「攻めの農林水産業総合販売戦略プロジェクト」、「あおもりツーリズム創造プロジェクト」、「美しいふるさと水循環推進プロジェクト」が計画されています。

6月定例会

どうなった？

野生動物による被害対策



サルの居場所を確認する巡視員

川畠議員
十二月定例会でサル、カモシカ、クマによる被害対策を求めたが、その後、どのような動きがあつたのか。

モジカ、クマによる被害対策を求めたが、その後、どのような動きがあつたのか。

県が被害状況を調査する

県からは、クマによるスギの皮はぎなどの被害状況を調査をしたいとの回答を得ている。

モデル地区が指定される

調査にあたっては、被害のある市町村を一ヶ所ずつモデル地区に指定することになっている。

調査にあたっては、被害のある市町村を一ヶ所ずつモデル地区に指定することになっている。

県民局が調査するのか

産業建設課長
調査にあたっては、被害のある市町村を一ヶ所ずつモデル地区に指定することになっている。

調査にあたっては、被害のある市町村を一ヶ所ずつモデル地区に指定することになっている。

決まっていない

具体的な内容は、まだ決まっていない。

具体的な内容は、まだ決まっていない。

モンキードックは

産業建設課長
具体的な内容は、まだ決まっていない。

具体的な内容は、まだ決まっていない。

モンキードックは

川畠議員
むつ市が試験的に導入したモンキードックの状況を把握しているか。

むつ市が試験的に導入したモンキードックの状況を把握しているか。

むつ市が試験的に導入したモンキードックの状況を把握しているか。

訓練の様子を聞いている

川畠議員
訓練の様子などを聞いているが、導入に関しては状況を見極めたい。

訓練の様子を聞いている

訓練の様子を聞いている

訓練の様子を聞いている



被害に遭ったえんどう豆（川目地区）



人権擁護委員の候補者
佐々木寛昭氏の推薦に同意

平成二十年九月三十日付で人権擁護委員の佐々木寛昭氏の任期が満了するため、引き続き人権擁護委員の候補者として同氏を推薦することに同意しました。

産業建設課長
まだ決定されていない。

未定である

まだ決定されていない。

川畠議員
今年度駆除予定のサルの頭数は。

サルの駆除
予定頭数は

今年度駆除予定のサルの頭数は。

ひとこと



アルサス活性化協議会 運営委員長 島野 慶司さん

アルサス活性化協議会は、アルサス物産市場をはじめ、おさかなまつりやフォトコンテストなどのイベントを企画・運営しています。

冬の風物詩となったアルサス・イルミネーションは、今年は住民提案型事業に採用されましたので、古くなった電球や配線を交換することができます。継続が危ぶまれた時期もありましたが、来年度以降も継続していきたいと思います。点灯式では演奏会やゲーム大会も併せて行なっていますので、みなさん参加してください。

アルサス活性化協議会は、地域活性化を促す組織として、これからもがんばっていきます！

総務文教・産業建設合同常任委員会は、平成二十年三月十日、佐井村漁業協同組合の平成十九年度決算と水産振興基金の活用についての説明を受けた。

田中組合長から、平成十九年前半はヤリイカの豊漁に恵まれたものの、コウナゴ漁の不振と貝類・海藻類の減少があった。後半はマグロ、タコ等の鮮魚類が好漁であったが原材料が高騰したためイクラ製品を値上げし、売り上げが減少した。平成十九年度は総経費五億五千五千万六千円に対し、事業総収入五億五千五百四万五千円で、百三万九千円の黒字決算となつたことが報告された。

また、七戸参事から、譲渡資金借入利息の軽減について、水産振興基金を定期担保に変更することにより約二千二百万円の軽減が見込まれることが説明された。



「うに飼料供給事業」で採取されたコンブ

平成十九年度決算も黒字決算となつたが、地球温暖化の影響による海水温上昇の影響など、漁業を取り巻く環境は年々厳しくなっていることから、各種事業を通じて組合員の所得向上と意識改革に取り組んでいた

だくよう要望する。なお、譲渡資金借入利息の軽減に

ついてはさまざまな課題があり、結論を見出せなかつたことから、行政並びに関係各機関の早急な調査検討を求めたことを申し添え、総務文教・産業建設合同常任委員会活動報告といたします。

総務文教・産業建設合同常任委員会活動報告 水産振興基金の活用に課題

議員に行事やイベントなどの案内（通知）をする各種団体・企業の方へのお願いです。日程を把握する必要がありますので、議員の自宅ではなく、議会事務局まで案内状（通知文）をお送りください。

お願い



昨年は26人のみなさんに傍聴していただきました

次回定例会は、九月上旬に開催します。九月定例会の一般質問は、午後六時に開会する夜間議会で行なう予定です。詳しい日程は、別途お知らせいたします。

夜間議会のお知らせ